

「やまがた出羽百観音」のご紹介!

三つの三十三観音を合わせて「百観音」と呼ばれるのは全国に三つ※ありますが、一つの県で完結するのはやまがた出羽百観音だけです。そんな身近な出羽百観音の縁起や特色、魅力についてご紹介します。

※ 他の二つは日本百観音(西国・坂東・秩父)と東海百観音(三河・尾張・美濃)

庄内三十三観音

江戸時代、羽黒山荒澤寺の大恵東水和尚らが当地で古くから信仰されてきた観音霊場の各お堂のもとに、西国三十三観音札所の御砂を勧請し三十三の霊場を定めた。即身仏が祀られているお寺があるのも特色の一つ。



第12番 總光寺 (酒田市松山)



第33番 庭月観音 (鮭川村)



第1番 正善院黄金堂 (鶴岡市羽黒)



第9番 松尾山観音 (山形市)

納札(おさめふだ)
巡礼者が願いを書き、巡礼地一か所に一枚を納める。巡礼回数によって色が変わり、金銀の納札は御利益があり、見つけた人が持ち帰り大事にするのは、山形独自の習わし。

Q 33×3=99観音では?

実は最上三十三観音には番外(世照観音)、庄内三十三観音には首番(荒澤寺)と番外(観音寺)があり、これらを加えた102か所をやまがた出羽百観音と称しています。



第8番 深山観音 (白鷹町)



第19番 笹野観音 (米沢市)

最上三十三観音

始まりは室町時代にさかのぼる。山形を治めていた最上家の一人娘・光姫が自身をめぐる争いで命を絶たれた武将を憂い出家し、三十三の霊場を巡ったことに由来。

Q 三十三観音信仰とは?

観音様は参拝者の願いに寄り添い、三十三の姿となり救うとされていることに因んで三十三か所の観音堂をお参りし、二世安楽を願う巡礼が古くから行われてきた。観音巡礼は全国各地に見られ、最も古く代表的なものとして西国三十三観音が有名。

※ 現世と来世とが安楽であること

置賜三十三観音

かつて、置賜の地を治めた米沢藩の重臣・直江兼統の妻・お船の方は、観音信仰篤く、領地内で観音巡礼ができるように、三十三の霊場を定めたのが始まりと伝わる。

魅力① 貴重な文化財

国や県の指定文化財となっている建築物や仏像が豊富
例: 観音寺観音堂(国指定重要文化財)

魅力② 自然との調和

豊かな自然に囲まれ、素朴ながらも厳かな佇まい
例: 大日坊の皇壇スギ(県指定文化財)

魅力③ 歴史との関わり

地域との結びつきが強く、周辺に歴史的な見所が多い
例: 長谷堂観音堂(長谷堂城跡)

目指す巡礼地像

- ◎世界中から注目される巡礼地
- ◎精神的な特別感と巡る楽しみがある巡礼地
- ◎地域住民が訪れ、未来に守り継がれる巡礼地

取組み方針

- ①「やまがた出羽百観音」ブランド構築
- ②魅力ある誘客企画の実施
- ③知名度向上のためのプロモーション強化
- ④人材育成と受け入れ態勢の整備

やまがた出羽百観音の取組み

昨年度、学識経験者や全国先進地に詳しい旅行会社、県内の関係者・団体で構成するプロジェクトチームを立ち上げ、**やまがた出羽百観音**の目指す姿と取組み方針を策定しました。

取組み初年度となる今年度は、魅力を発信する動画やSNSなどを活用したプロモーションにより、認知度向上に向けて取り組みます。今後、様々なアイデアを取り入れ、巡る楽しさを演出する仕組みや気軽な体験ツアーなどを創出していきます。県民の皆さんもぜひ、ご家族ご友人とお近くの**やまがた出羽百観音**を訪れ、その魅力にふれてみてください。

▶問い合わせ ◎ 観光復活戦略課 ☎023-630-3246

特集

世界に誇る山形の「精神文化」を生かして ～やまがた出羽百観音による観光交流の促進～



羽黒山最古の寺院とされる庄内三十三観音首番「羽黒山荒澤寺」

「精神文化」とは?

本県の特徴ある文化の一つが精神文化です。精神文化とは、「自然を尊び、自然に感謝する心が生み出した文化」を指し、出羽三山信仰、草木塔、最上・庄内・置賜の各三十三観音などが挙げられます。

その中でも本県の精神文化を代表する出羽三山は、今も続く山岳信仰に根付いた特有の伝統文化として国内外から高く評価されており、**出羽三山「生まれかわりの旅」**は日本遺産として認定されています。



今注目される精神文化

現代を生きる人々が抱える「心の疲れ」や度重なる災害、コロナ禍等による不安感が広がる社会状況下で、心の安らぎや癒しを与えてくれる精神文化の価値が見直されてきています。これまで大切に受け継がれてきた精神文化は、本県が誇る魅力的な地域資源であり、世界中から注目される大きな強みなのです。

精神文化を生かした観光交流の促進

県では、この精神文化を活用した観光振興に取り組むことで地域や経済の活性化、交流人口の拡大を目指すとともに、精神文化の継承・発展につなげていきたいと考えています。

特に昨年度から取り組み始めたテーマが**やまがた出羽百観音**です。**やまがた出羽百観音**は、本県に古くから深く根付く観音信仰に由来する最上・庄内・置賜の各三十三観音の総称であり、県内外から巡礼者が訪れるその魅力を高め、特徴を生かし県内周遊に結びつけていきます。

やまがた出羽百観音の現状と課題

近年、高齢化や団体巡礼の衰退により、巡礼者数自体は減っています。一方で、県外からの巡礼者は増加し、女性や若年層を中心に、御朱印の収集や精神文化に興味を持つ新たな関心層が訪れています。しかし、お遍路さんで知られる四国八十八箇所などの全国区の巡礼地に比べると、まだまだ知名度が低いのが現状です。県は、認知度向上に向けた情報発信を進めており、今回の特集では、県民の皆さんに**やまがた出羽百観音**の魅力をお伝えします。

